Morino

HALL+PARK

CONCEPT BOOK

モリノホール＋パーク コンセプトブック

町田に行ってみよう、町田で集まろう

Morino
HALL + PARK

ホール＋パークの熱気と、私の『熱中』が溶け合う場所

町田駅周辺は、これまで商都として多くの人々が訪れ、さまざまな文化が交差する場として活気あるまちなみが形成されてきました。しかし、日常生活の大抵のことがオンラインで事足りる今の時代において、まちに出掛ける目的や、まちでの過ごし方は、非日常的な空間や時間を楽しむ、つまりは、そこでしか得られない体験や感動をだれかと共有することに変わってきています。これから先ももっと多くの方々に「町田に行ってみよう、町田で集まろう」と思ってもらえるまちにしていくためには、これまで培ってきた町田らしい商業の賑わいに、「誰かと一緒に楽しむ・体験する」といったエンターテインメントの要素を取り入れ、さらなる魅力向上を図ることが必要です。町田駅至近でありながら、大規模な土地利用転換のポテンシャルをもつ森野住宅周辺地区のまちづくりが動き出した今こそその時です。国内外の有名アーティストによる興行を誘致し、市民をはじめとした多くの方々に、ライブ等の鑑賞機会を提供する音楽・演劇ホールと、豊かなみどりと境川に囲まれた屋外空間で、訪れた人が思い思いに時間を過ごせる広場が一体化した（仮称）モリノホール＋パークのプロジェクトをスタートします。

（仮称）モリノホール＋パークを実現するためには、地権者からの賛同を得ることはもちろん、市民の応援や事業への参画が期待される事業者からの共感が不可欠です。そのため、プロジェクトの目的や効果、施設の整備イメージ等をコンセプトブックとして取りまとめ公表・発信していきます。

*以下、本稿では（仮称）を省略します。

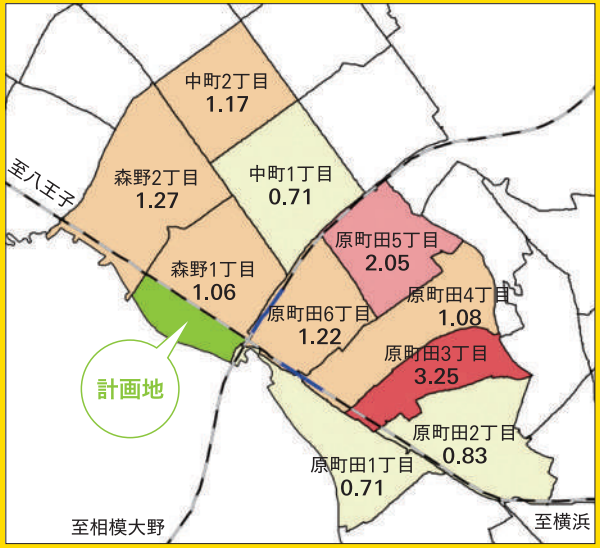
森野住宅周辺地区のポテンシャル

1 住んでる人も訪れる人も多いエリア

2 エリアを繋ぐ歩行者ネットワーク

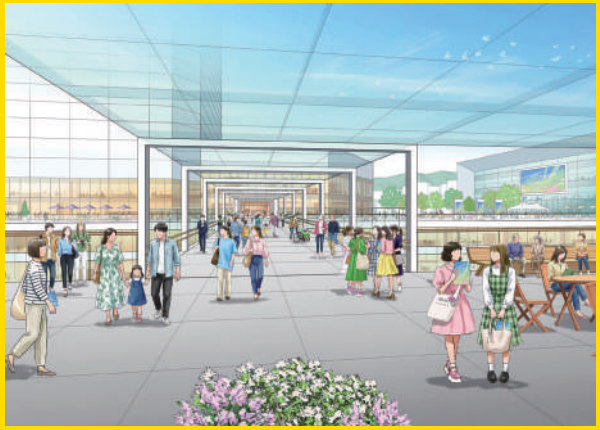
1日平均約50万人が利用する、多摩地域最大のターミナル駅である町田駅に近接しているとともに、子育て世代の流入も多い地区であることから、幅広い世代の利用者が見込まれます。
駅周辺では、デッキをいかした歩行者ネットワークが形成されており、再開発によるネットワークの強化・拡充が予定されています。駅とのアクセス性が優れた地区であることから、継続的な人々の往来が見込まれます。

首都圏南西部都市群のイメージ（国土地理院地図を加工して作成）



町田駅周辺の15歳以下人口増加率（2015→2025）
（国土地理院地図、町田市地形図を加工して作成）

町田駅の交通ネットワーク

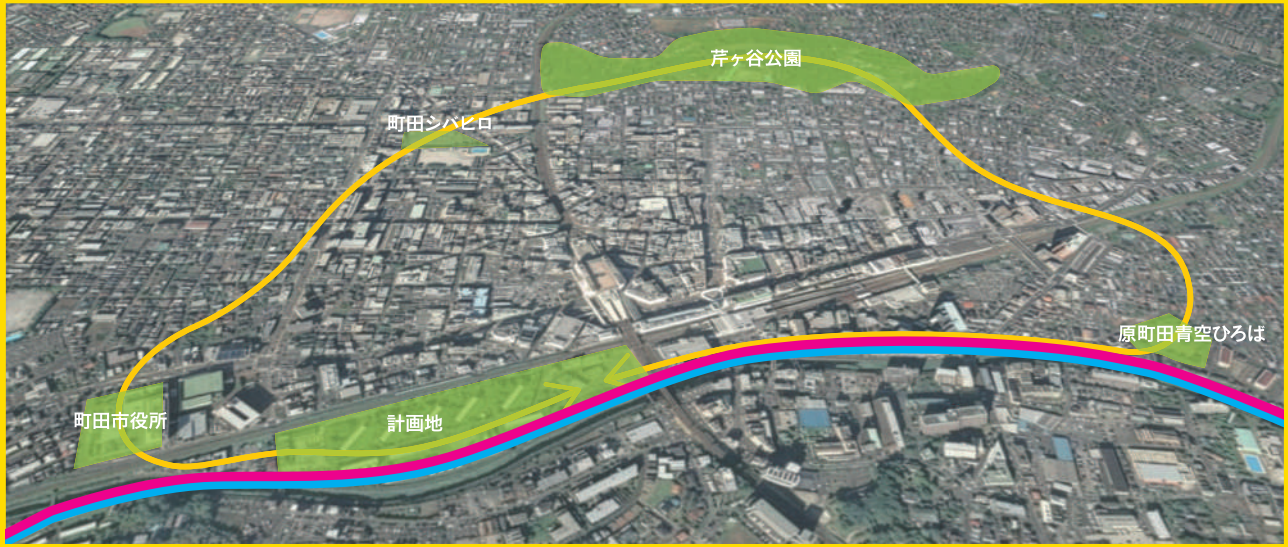


駅から森野住宅周辺へのデッキイメージパース

森野住宅周辺地区のポテンシャル

3 境川やみどりのネットワークの中心地

境川ゆっくりロードは、日常的にサイクリングやウォーキングなどアクティビティの場となっており、流域に集積するさまざまな資源を結んでいます。森野住宅周辺地区はその中心に位置しています。また、町田駅周辺の中心市街地外縁部に点在するまとまったみどりの一端を担っており、人と水とみどりの多様な交流を創出しています。



上：中心市街地外縁部のみどり　下：境川流域の資源

（上図２点：国土地理院地図を加工して作成）

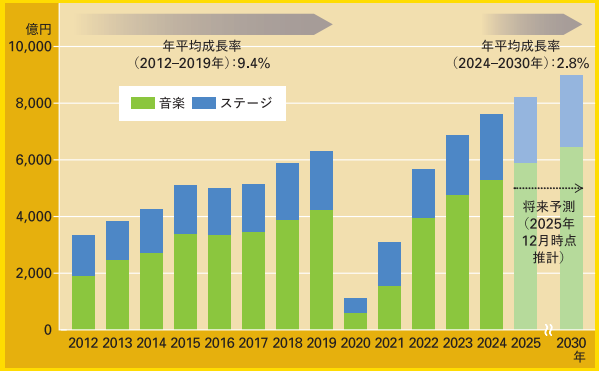
モリノホール＋パークとは

1 中核施設となる音楽・演劇ホール

［2,500席規模の多目的ホール］

ライブ・エンターテインメント市場を調査・分析すると、音楽及びステージ分野ともに規模は年々成長しており、今後も全国的に拡大する見通しです。
良質なコンテンツを提供するシンボリックな音楽・演劇ホールは、特定の瞬間や限られた時間を特別なものにする体験を提供し、まち全体の魅力向上に寄与します。
興行誘致がしやすく高い稼働率が見込めるホールとして、座席数約2,500席相当の規模で、さまざまな演目に対応できる多目的ホール形式の施設整備を目指します。

左上：J:COM ホルトホール大分　右上：彩の国さいたま芸術劇場　左下：島根県芸術文化センター「グラントワ」　右下：高崎芸術劇場



ライブ・エンタテインメント市場規模の将来予測
（ぴあ総研調べ／『2025ライブ・エンタテインメント白書』より）

東京都・神奈川県でポップス公演を実施している1,800～2,500席のホール
（国土地理院地図を加工して作成）

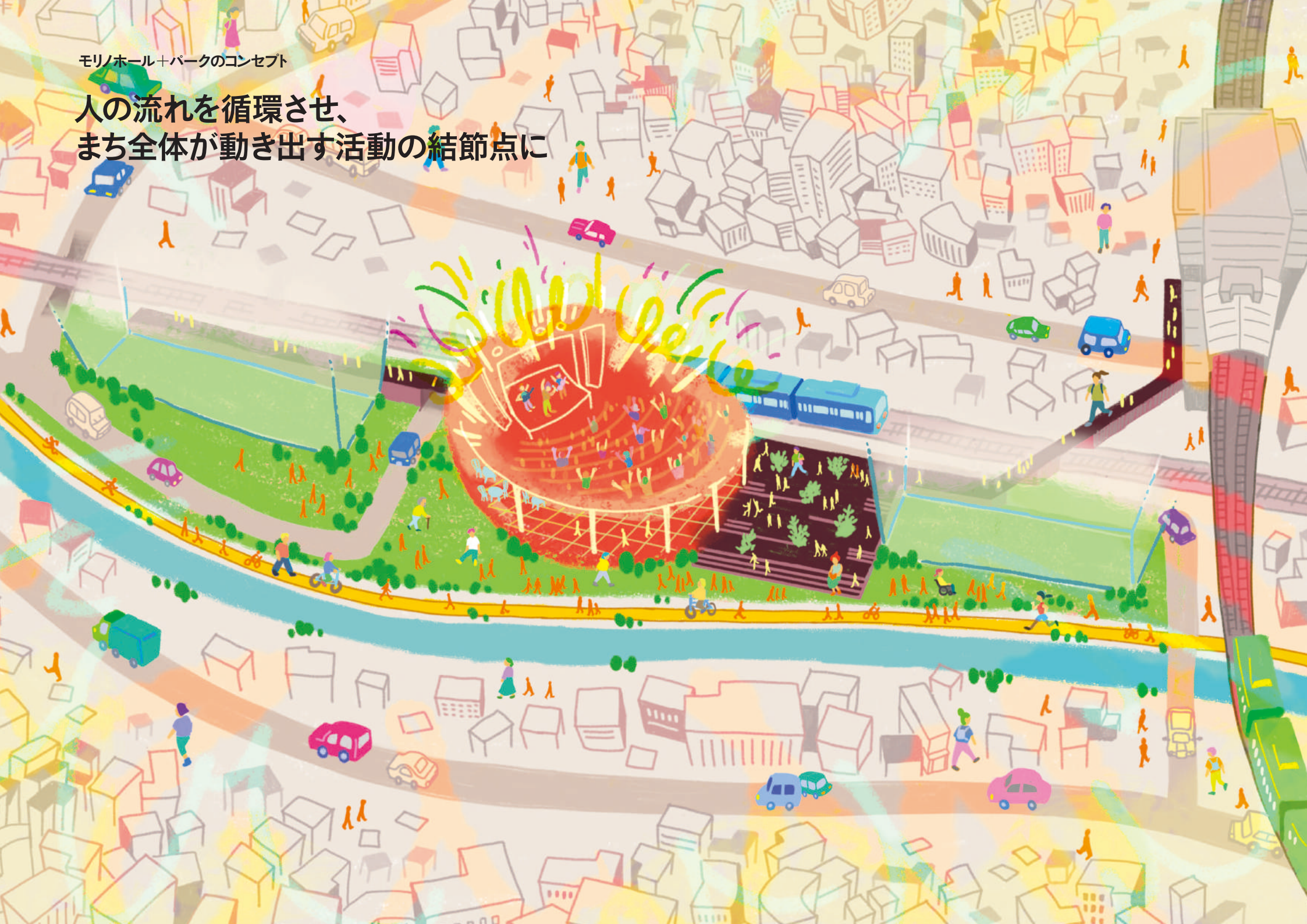
2 にぎわいあふれるオープンスペース

近年、まちなか特に駅周辺においては、にぎわいや憩いを醸し出すまちの象徴的な顔づくりとして、広場や公園などオープンスペースの整備が求められるようになっています。
都市機能が高度に集積する空間のなかにつくられる魅力的なオープンスペースは、大勢の人々が集い、交流し、活動するための場を提供し、まち全体に活気をもたらします。
音楽・演劇ホールと一体的にスポーツやイベントなども多目的に楽しめる空間を創出し、境川や豊かなみどりに親しめる大規模なまちなか広場の整備を目指します。

上：グラングリーン大阪　中左：Pacific PICKLE CLUB（有明）　中右・下右：立川ステージガーデン　下左：渋谷ストリーム

モリノホール＋パークのコンセプト

人の流れを循環させ、
まち全体が動き出す活動の結節点に



みどりと活動に寄り添う

◉豊かなみどりの空間を継承し、訪れる人がふと立ち止まり、土地がもつ静かな息づかいを感じられるような場所を目指します
◉高木、低木、地被の立体的な階層が生み出す影や多様な植生により、人と生きものが自然によって調和する環境をつくります

みんなの「夢中」を応援

◉スポーツ、音楽、ダンス、演技、読書、おしゃべり、遊びなど、さまざまな夢中の先にある未来を応援する場所を目指します
◉さまざまな「夢中」を応援する多孔質なサンゴ礁的な場の提供により、多世代が集まり、活動できる居場所をつくります

境川から「たのしい」を発信

◉CULTUREとNATUREをつなぎあわせるとともに、境川を通じてまち全体に「たのしい」を波及させる場所を目指します
◉境川ゆっくりロードにゆとりのある歩行空間を加えることにより、ウォーキングやサイクリングなどアクティビティの拠点をつくります

モリノホール＋パークのビジョン

演じる人も、観る人も、歩く人もみんなが主役の熱中公園

町田市の新たなシンボルとなるモリノホール＋パークは、町田駅周辺の中心市街地をエンターテインメントのまちとして、今よりもっと輝かせていくための集客装置にしていきます。国内外の人気アーティストによるライブや多彩なアクティビティを通じて、中心市街地を訪れるすべての人々に楽しい時間を提供します。周辺の商店街や水とみどり、アートとスポーツなど、これまで培ってきた資源との連携による相乗効果でまち全体に新たなにぎわいと交流を生み出します。みんなが何かに熱中できる、誰もが主役になるまちが誕生します。

1 市内外幅広い層の集客

◉子どもから高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる環境づくり
◉市内だけでなく、市外・遠方まで訴求するコンテンツの誘致

2 日常的なにぎわいの創出

◉ホールエントランス、デッキ、屋外広場の連携によるにぎわいの滲み出し
◉人々が気軽に立ち寄り、憩い、楽しめる多様なアクティビティの提供
◉にぎわいと憩いを両立する空間づくり

3 地域ブランド価値の向上

◉演者と観客のどちらにも魅力的な地域のシンボルづくり
◉良質な音楽・演劇を鑑賞できる唯一無二のホール整備
◉地域の環境資源である水とみどりのネットワークの拡充

4 まちなかへの人流誘導

◉歩行者ネットワークの強化によるウォーカブルな駅周辺環境の形成
◉来場者がまちなかへ回遊しやすい仕掛けづくり

熱中！

熱中！

行ってみたい、観てみたい
町田発信カルチャーに熱中!

最新の音響・映像に対応した、ライブ感あふれる音楽・演劇ホール

一歩ホールに入ればステージの熱量に包まれ、世代を問わず心が高鳴る特別な空間が広がります。どの座席からもステージとの一体感を感じられるつくりは、演者の息遣いさえ届く圧倒的な没入感とライブ感を生み、何度でも“行ってみたい”と思わせる憧れのエンターテイメント施設です。

わくわく、ドキドキが続く
にぎわい広場で熱中!

ホール、デッキ、広場のシームレスな連携

まちとホールがデッキや広場を通してシームレスにつながります。公演が始まる前も、終わった後も、まちなかでお茶を飲んだりショッピングをしたり、思い思いの時間を過ごすことができます。公演がない日にも、ロビーと広場が一体となってにぎわいの場をつくり、そこで生まれるにぎわいがまち全体へと自然に広がっていきます。

熱中！

熱中！

みんなの居場所で じぶん時間に熱中！

ひとりでも居心地のよい多様な居場所づくりや仕掛け

広場はさまざまな時間の過ごし方ができる場です。柔らかな日差しの下で読書を楽しんだり、家族や友人とのおしゃべりが弾んだりと、心地よい時間が穏やかに流れます。緩やかな段差が続く広場には、腰掛けて過ごせる居場所が自然と生まれ、それぞれの自由時間に熱中できます。

心身をアップデートする アクティビティに熱中！

まちに繋がる境川沿いのアクティビティ・ルートの整備

境川沿いにはさまざまなアクティビティができる場がちりばめられます。サイクリング・ジョギングで汗を流す人々や、芝生でヨガを楽しむ人々が心地よく過ごせます。川風が通り抜ける開放的な空間は、思わず深呼吸したくなるような気持ちよさであふれます。

町田市